

平成31年(2019年)度「大分を創る人材を育成する科目」各大学等が提供する単位互換科目一覧

科目数：43科目

【前期】

(企業力科目)

大分県立芸術文化短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
産業・組織心理学	前期 金3	吉山	2	5	2	講義(週1×15コマ)	大分県立芸術文化短期大学で開講	
①職場集団や組織の心理学的特質を説明できる。 ②職場で起きやすい問題や困難を指摘できる。 ③リーダーシップを発揮するポイントを説明できる。								

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
経済統計を読む	前期 月2	西村	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
主要な経済統計(指標)についての確に理解することができます。								
日本のマネジメント	前期 水1	加納	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 日本の企業システムの特徴を理解し、説明できるようになること。 2. 日本企業が現在直面する課題とそれらに対する取組みを理論的に分析できるようになること。								
会社組織のしくみ	前期 水1	本谷	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 会社組織のあり方を説明できるようになる。 2. 組織的なものの考え方や見方ができるようになる。								
企業の価格戦略と消費者の行動	前期 水3	宇野	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 企業の価格決定の方法、コーヒョップや携帯電話料金、DVDの価格がなぜ下がるのか?などの価格決定構造を理解してもらう。								

(地域力科目)

大分県立芸術文化短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
観光地域づくり論	前期 月3	宮野	2	5	2	講義(週1×15コマ)	大分県立芸術文化短期大学で開講	
①観光地域を取り巻く社会環境について理解している。 ②観光地域づくりにおけるマーケティングの必要性について理解している。 ③観光地域マーケティングの基礎的知識を持っている。								
大分の観光と文化	前期 火2	齋谷 宮野 千賀	2	10	1・2	講義(週1×15コマ)	大分県立芸術文化短期大学で開講	オムニバス形式 開講内容の一部はシラバスから 変更される場合がある。
①大分の観光や文化についての基礎的な知識を身につける。 ②地元出身者にも意外に知られていない観光資源としての大分の魅力を再認識する。 ③観光振興の戦略や問題点について認識する。 ④大分の観光振興について主体的に考える態度を養う。								

大分工業高等専門学校

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
環境化学	前期 未定	帆秋	2	4	3・4	講義(週1×15コマ)	大分工業高等専門学校で開講	
(1) 化学の基礎力をベースに環境問題の現状を把握し、環境保全への関心を抱くことができる。(定期試験) (2) 化学的な視点から大気・水・土壌の汚染問題を議論できる。(定期試験) (3) 化学物質の循環、越境および管理について理解することができる。(定期試験) (4) 化学を英語で理解することができる。(定期試験)								

大分短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
ゲーテニング概論	前期 火4	摺崎	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分短期大学で開講	
・世界の歴史と様式について説明することができる。 ・季節ごとの園芸作業のポイントについて説明することができる。 ・ゲーテニングの定義について熟考し、自らの考えを導き出すことができる。								

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
大分の地域資源	前期 水2	鈴木	2	10名程度	1・2・3・4	オリエンテーション(1コマ)、Moodle と動画配信による遠隔授業(8コマ)、 対面授業(6コマ)	オリエンテーション(1コマ)、Moodleと 動画配信による遠隔授業(8コマ)、 対面授業(6コマ)	
1. 授業でピックアップする大分の地域資源について列挙し、説明できる。 2. 大分地域の課題や地域資源の活用についてのアイデアを創出できる。 3. 大分についてさらに学んだり、大分の地域資源を体験したりしようとする。								

別府溝部学園短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
まちづくりと景観	前期 集中	姫野	2	10名程度	1・2・3・4	講義4日間（15コマ）	別府溝部学園短期大学で開講	フィールドワーク有り
①紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。 ②地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。 ③顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。 ④別府の街づくりや特色ある産業について他地域と比較し説明できる。								
温泉学	前期 集中	宮崎	2	10名程度	1・2・3・4	講義4日間（15コマ）	別府溝部学園短期大学で開講	フィールドワーク有り
①温泉の利活用について幅広く実践的な基礎知識を身につける。 ②大分県の温泉、特に別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶ。 ③温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュをめざす。								

（汎用力科目）

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
心理学を知る	前期 月2	藤田	2	10名程度	1・2・3・4	講義（週1×15コマ）	大分大学で開講	
1. 日常的な人間の行動を、経験則や直観によって理解するのではなく、科学的な観点から説明できる。 2. 心の存在、機能、構造について理解するための基本的な心理学の知識や考え方を説明できる。								
コンピュータ科学入門	前期 水1	理工学部教員	2	10名程度	1・2・3・4	講義（週1×15コマ）	大分大学で開講	
1. コンピュータに興味を持ち、その発展の歴史を説明できる。 2. コンピュータ科学とその応用分野との関係を説明できる。 3. コンピュータの社会における基本的な活用法について説明できる。 4. コンピュータ社会が抱える課題に関心を持ち、自分自身の意見を述べるができる。								
福祉テクノロジー入門	前期 水2	池内	2	10名程度	1・2・3・4	講義（週1×15コマ）	大分大学で開講	
1. 福祉とテクノロジーに関する正しい認識を判断できる。 2. 障害や高齢に対する福祉テクノロジーに関する説明に対し正しい語句を示すことができる。 3. 福祉機器に関する特徴や仕組み、用途などを述べるができる。 4. 福祉テクノロジーに関する誤解や問題点を述べ、考察することができる。								
環境の化学	前期 水2	石川 大賀 甲斐	2	10名程度	1・2・3・4	講義（週1×15コマ）	大分大学で開講	
1. 地域の循環型社会の構築、世界のエネルギー事情、環境問題の課題、環境浄化を可能にする材料について理解できること。 2. 地域と身の回りの「環境」を見つめることで化学の基礎的な原理と理論を自発的に学ぼうと取り組むようになること。 3. 地球環境に関する様々なデータを読むことができるようになること。 4. 環境問題の主な原因とそのメカニズムを、化学的な視点で理解できるようになること。 5. それらの問題を解決するために何をすべきか、各自で考えることができるようになること。								
創造的思考法	前期 金2	鈴木	2	10名程度	1・2・3・4	講義（週1×15コマ）	大分大学で開講	
1. マインドマップを用いて、情報の整理・視覚化し、アイデアを創出できる。 2. マレインストリーミングの意味や意義を説明できる。 3. レイブス・トレーニングによって、アイデアを創出できる。 4. 親和図法を用いて情報を視覚化・整理し、アイデアを創出できる。 5. 大分の地域活性化を題材に、アイデアを創出できる。								
初年次地域キャリアデザインワーク ショップ	前期 集中	牧野・西村	2	11大学等 合計20名	1・2	ガイダンス、授業配信、 合同学習（全15コマ）	大分大学で開講	合同学習は6月22日（土）、 23日（日）、29日（土）実施
1. 多様な情報から、必要な情報を抽出し分析することができる。 2. 組織や集団の一員として、積極性と柔軟性を持った議論を建設的に行うことができる。 3. グループ討議やプレゼンにおいて、自分の考えを他者に分かりやすく説明することができる。 4. 自分の考えを基にして、他者と協調、協働しながら、大学での学び方を提案できる。 5. 地域社会や企業が抱える課題に対応した提案ができる。 6. 自分の生き方を構想し、自分自身が大学で学ぶ意義と価値を説明できる。								
国際健康コンシェルジュ養成講座	前期 集中	大下・他	1	10名程度	1・2・3・4	講義2日間（8コマ）	大分大学で開講	6月22日（土）、23日（日）実施 社会人も受け入れ
1. 病氣・外傷の重症度・緊急度の判断が可能となり、また必要な応急処置できる。 2. 外国語（英語、中国語）の基本的な表現を使って、「身体症状を質問し、適切な指示を与えることができる。 3. 多様な年齢、性別、人生観、仕事観を持つ社会人と交流することで、視野を広げる。								

日本理科大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
ジェネリックススキル養成I	前期 集中	吉村	1	10名程度	1	演習・実習2日間（8コマ）	住吉浜リゾートパーク（杵築市）で 1泊2日の合宿	夏期休業中 9月10日（火）、11日（水）に実施
【関心・意欲・態度】①各自が「他のメンバーに配慮しながら、オープンな気持ち・態度になり、課題に向き合う際に、チームに積極的に関わり、チームに貢献することが自分を成長させ、今後の様々な場面でもそれが役に立つ」と意識できる。 【技能・表現・コミュニケーション】②フルパルビュー・コントラクト（人と良い関係を作る力、対人基礎力）、チャレンジ・バイ・チョイス（自分自身で積極的に動く力、対自己基礎力）という観点から、活動を各自がふりかえることができる。 【思考・判断・創造】③体験学習サイクル（考える力、対課題基礎力）という観点から、活動を各自がふりかえることができる。								

立命館アジア太平洋大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
日本の経済J C	春 semester 木1	平田	2	5	1・2・3・4	講義（全15コマ）	立命館アジア太平洋大学で開講	
現在の日本経済の状況を正確に理解するために必要となる、日本における経済活動の仕組みを理解することが第1の到達目標である。これと併せて、今後経済学を学んでいく上で、常識と知っておくべき日本経済の発展過程を理解することが第2の到達目標である。第3の到達目標は、日本経済の発展過程を基準にその後経済成長を達成した、東アジア諸国の経済発展とを比較検討する上で必要となる、日本経済の特徴を理解することである。								
アジア太平洋の文化と社会J B	春クォーター2 火2・金2	金	2	5	1・2・3・4	講義（全15コマ）	立命館アジア太平洋大学で開講	
日本・韓国・中国の東アジア地域や南アジア太平洋地域は昔から活発な文化交流が行われたところである。本講義では、日本・韓国・中国の東アジア地域や南太平洋地域などに共通して伝承されている神話・昔話・伝説・民俗などの比較を通して、その文化の共通性を確認し相互の違いを認め、アジア太平洋地域文化への理解を深めることを期待したい。								

【後期】

(企業力科目)

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
会社法入門	後期 水1	牧	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 会社法の基礎知識を習得する。 2. 会社法の全体的な仕組みを説明できるようになる。								
企業経営と会計	後期 木2	加藤	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 企業経営と会計との関係を理解する。 2. 基本的な財務諸表分析を習得する。 3. 企業経営に有用な会計技法の理解を深める。								
知的財産入門	後期 集中	富畑	1	10名程度	1・2・3・4	講義(2日間×4コマ)	大分大学で開講	10月27日(日)、11月10日(日) 実施、社会人も受け入れ
1. 知的財産と知的財産権の概念を説明することができる。 2. 知的財産権の種類と保護対象を区別して説明することができる。 3. 発明を文章で表現することができる。 4. 他人の知的財産権を尊重し、自らの権利を主張することができる。 5. 事業活動において知的財産をどのように活用するか具体的に提案できる。								

(地域力科目)

大分工業高等専門学校

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
社会技術概論	後期 未定	久保山	2	4	3.4	講義(週1×15コマ)	大分工業高等専門学校で開講	
(1) 社会技術に関し、多角的に思考することができる。(定期試験) (2) 社会技術の要諦を理解することができる。(定期試験) (3) 具体的事案にそくし、体系的に議論することができる。(定期試験) (4) 将来起こりうる事態に際し、積極的な解決策を提案できる。(定期試験)								

大分短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
園芸療法Ⅱ	後期 火2	小石	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分短期大学で開講	
・園芸療法の評価方法の選択と実施ができる。 ・クライアントに対して適切な対応ができる。 ・プログラムを作成することができる。 ・危機管理について他者と協議できる。 ・自分の考案したプログラムを他者にわかりやすく説明できる。								

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
地域における仕事と社会	後期 水1	石井	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 地域を豊かにするための方策について考えることができる。 2. 地方圏特有の労働問題を理解することができる。 3. 労働問題全般の基礎知識が身につく。								
交通からみた地域社会	後期 水2	大井	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 地域で起きている交通問題の実態を正確に把握すること 2. 他の社会問題・政策との関係などについても理解すること 3. 現状や政策を理解するためのツールを理解すること 4. 地域・交通問題に関心をもち、本講義の知識をきっかけに自身に関連する問題として自らの考えを持つこと								
大分の人と学問	後期 集中	望月・他	2	10名程度	1・2・3・4	Moodleと動画配信による遠隔授業 (12コマ)と対面授業(3コマ)	Moodleと動画配信による遠隔授業 (12コマ)と対面授業(3コマ)	対面授業は大分大学で実施
1. 大分の特色や課題について説明できる。 2. 大分に縁のある学問分野や人物について説明できる。 3. テーマに基づいて他者と意見交換したり、協働しながら課題に取り組んだりすることができる。 4. 授業内容から派生的な課題を自ら見だし、文献等の調査に基づいたアイデアを論述することができる。								
大分の地域資源	後期 集中	鈴木	2	10名程度	1・2・3・4	Moodleと動画配信による遠隔授業 (10コマ)と対面授業(5コマ)	Moodleと動画配信による 遠隔授業(10コマ)と対面授業(5コマ)	対面授業は、大分大学 (巨野原キャンパス)で実施
1. 授業でピックアップする大分の地域資源について列挙し、説明できる。 2. 大分地域の課題や地域資源の活用についてのアイデアを創出できる。 3. 大分についてさらに学んだり、大分の地域資源を体験したりしようとする。								

日本理科大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
大分の地域ブランド創造体験	後期 集中	吉村	2	15名程度	1・2・3・4	演習・実習2日間×2回 (15コマ)	国東市で1泊2日の合宿を2回	2月下旬～3月中旬の春期休業期間 中で2回設定。低学年優先。
【技能・表現・コミュニケーション】 ①他者と協働して活動を行い、テーマについての対応計画をまとめ、他者にわかりやすく提案することができる。 【思考・判断・創造】 ②地域での活動を体験して情報収集・分析し、テーマに関する地域社会が直面する課題を明らかにすることができる。 ③地域企業が抱える課題を知り、地域資源を活かした商品開発を提案することができる。 ④地域が抱える課題を知り、地域資源を活かした柔軟性を保った活性化策の計画立案を行い、提案することができる。								

別府大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
九州学	後期 土1	飯沼	2	30	1	講義（週1×15コマ）	別府大学で開講	一般公開 9月18日～1月21日
①九州という場所の魅力を再発見し、九州をすばらしさを認識する。 ②九州の魅力を再認識し、ここで得た知識を伝えることができる。								
温泉学概論	後期 土2	鈴木	2	10	1	講義（週1×15コマ）	別府大学で開講	フィールドワーク有り 9月18日～1月21日
①日本の温泉文化を理解し、それを見直すことができる。 ②温泉の種類、温泉の効用、温泉の地熱利用の知識を取得できる。 ③温泉観光などの知識を取得できる。 ④外国の温泉地の状況を学習できる。								

別府清部学園短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
温泉コンシェルジュ演習	後期 集中	安達	2	5名程度	1・2・3・4	演習約7日間（30コマ）	別府清部学園短期大学で開講	長期休暇中の実施 週末フィールドワーク有り 9月下旬の集中講義
①（別府）温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ②「おすすめの別府案内」プログラムが提案できる。 ③他人の話をよく傾け、適切な対応をしようと思えることができる。 ④顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。								
温泉コンシェルジュ応用	後期 集中	坂田	2	5名程度	1・2・3・4	講義4日間（15コマ）	別府清部学園短期大学で開講	フィールドワーク有り 12月下旬の集中講義
①別府の地域資源を組み合わせた滞在プログラムの提案ができる。 ②多様な情報を収集し、顧客の滞在価値を高めるツールを作成できる。 ③人的ネットワークを活用し、課題解決力を身につけることができる。 ④顧客や職場等の考えを理解し、課題解決のための提案を行うことができる。								
温泉文化と活用	後期 火2（予定）	安達	2	5名程度	1・2・3・4	講義（週1×15コマ）	別府清部学園短期大学で開講	長期休暇中の実施 週末フィールドワーク有り
①温泉の活用法を知り、別府でのサービス等の情報発信ができる。 ②他者を理解し、多様な価値観を受容することができる。 ③職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。								
温泉医療療養指導	後期 木5（予定）	前田	2	5名程度	1・2・3・4	講義（週1×15コマ）	別府清部学園短期大学で開講	
①健康増進にむけた温泉の利用法を説明できる。 ②安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げられる。								
温泉健康トレーニング	後期 金2（予定）	住田	2	5名程度	1・2・3・4	講義（週1×15コマ）	別府清部学園短期大学で開講	フィールドワーク有り
①温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。 ②別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。 ③温泉を活用した健康トレーニングや癒し、健康増進に関する基本的な知識がある。 ④習得した知識をもとにして、課題解決に向けたプログラムを提案できる。								

（汎用力科目）

大分県立看護科学大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
総合人間学	前期～後期 (9月～11月)	藤内	1	10名程度	1・2・3・4	web視聴、レポート提出 (全10回)	web視聴、レポート提出	単位互換受講生の web視聴は10月以降を予定
講師の講義を通し、自分の見方や考え方の深まり、広がり等を認識し、自己の成長を見出すことができる。								

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
学習意欲の心理学	後期 水2	鈴木	2	10名程度	1・2・3・4	講義（週1×15コマ）	大分大学で開講	
1. 学習意欲に係わる心理学の理論を説明できる。 2. 学習意欲の問題に対して、解決案を示すことができる。 3. 学習者として、意欲を高めるための方策を選択し、活用できる。								
人類の知的遺産と向き合う	後期 水3	牧野	2	10名程度	1・2・3・4	講義（週1×15コマ）	大分大学で開講	
1. 必要な情報を収集し、その内容を報告することができる。 2. 一つの事象について、複数の見解を述べることができる。 3. ビブリオバトル（知的書評合戦）のパトラーができる。 4. 周囲の意見を聞きながら、自分の意見を的確に述べることができる。								

日本文理大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
ジェネリックスキル養成2	後期 集中	鈴木(照)・ 吉村	1	30名程度	1	演習2日間（8コマ）	日本文理大学湯布院研修所（由布市）で 1泊2日の合宿	春期休業中（2月中旬頃）に実施
【関心・意欲・態度】①チームにおける自己の役割を理解し、それに沿った行動ができる。②大分について考えることができる。 【知識・理解】対象とする地域課題について必要な知識を獲得し、問題点の分析に活用することができる。 【技能・表現・コミュニケーション】①対象とする地域課題について、自分の意見を述べることができる。 ②対象とする地域課題に関する解決策について、適切な手段を用いて表現することができる。 【思考・判断・創造】リテラシーのプロセス（情報分析－課題発見－構想－表現）を獲得し、そのスキルを活用できる。								